

登山シーズン開幕!

宝仏山 山開き

町の春の風物詩、宝仏山の山開きが4月29日に開かれ、町内外から登山愛好家に参加しました。登り切った登山者には、充実した笑顔がたくさん見られました。



頂上から見える雄大な大山の姿に感動する登山客



歴史民俗資料館横を元気よくスタート



歴史民俗資料館友の会によるお茶のサービス

町内の最高峰、宝仏山（標高1005m）の登山シーズン開幕を告げる山開き（ごうぎんすぎの子会主催）が、4月29日、登山道入口の町歴史民俗資料館で開かれました。当日は、初夏を思わせる陽光の中、町内外から登山愛好家ら約50人が参加。山の安全を祈願する神事のほか、町内で活動している合唱グループ「合唱団おしどりたち」の皆さんによる大山賛歌の合唱、資料館友の会によるコーヒータやお茶を振る舞う休憩所、セルプひのによるバザーも行われ、にぎわいました。

登山出発前には、ごうぎんすぎの子会会長の稲田耕さん（根雨）が「皆さんに、この宝仏山山開きにお越しいただき、喜んでいきます。『宝』『仏』と書く縁起の良い名前の山です。皆さんの1年がすばらしいものとなるよう願います」とあいさつ。また、景山町長が「この会場となっている歴史民俗資料館は、展示室の床を修繕し、展示品を見てもらいやすく展示し直し、山開きに合わせて再オープンしました。日野町を再認識していただければうれしい」と登山客を歓迎しました。



宝仏山登山に挑戦した山ガール

宝仏山登山道は、スギやマツなどが植林された人工林の静けさ、ブナなど多くの種類の木が見られる雑木林など、自然豊かで、手つかずの景観が楽しめる好評。頂上からは、大山や美保湾などが一望でき、感動します。

頂上では登山客らが美しい景色を楽しみながら、昼食をとったり、記念撮影をするなど、思い思いに過ごしていました。町内から参加した親子は「初めて登りました。登山道は険しいところもあり、大変でしたが、とても景色がきれいでした」と充実した笑顔で話しました。

宝仏山は、三重県桑名市から参加
あんどうとしゆき 安藤利之さん（根雨出身）
町の宝ですね

私は日野町根雨の出身で、現在は三重県桑名市に住んでいます。関西在住の町出身者の会「ひの郷会」に入って、交流もしています。

この宝仏山は、遠足など子どものころからよく遊んだ山です。懐かしいなあ。頂上には初めて登りました。立派な記念碑も建てられ、景色も素晴らしかったです。町の子供たちには、ぜひ宝仏山に登ってほしいですね。もちろん大人の方にもです。

今日は来てよかったです。



一番左が、安藤利之さん

今年も感動を与える舞台に向かって

第11回日野町民ミュージカル開始式

今年で11回目を迎える「日野町民ミュージカル」の開始式が行われ、出演者とその保護者らが参加しました。

出演者は緊張した表情で説明を聞き、気持ちを引き締めていました。10月の公演に向け、半年間の稽古が始まりました。



歌唱指導を受ける出演者

町文化センターホール森の音楽隊では、張りつめた空気の中、熱の入った稽古が始まりました。

穏やかな五月晴れの5月5日、今年で11回目を迎える日野町民ミュージカルの開始式が町文化センターで行われ、出演者とその保護者ら30人が参加しました。

まず、景山町長が「町民みんながミュージカルの公演を待っています。半年間の稽古を頑張ってください」と出演者らを激励。そして、1回から脚本、演出などを手掛ける渡邊勝子さん（広島県三原市）は「昨年、10回目の節目を迎えました。11回目は真価が問われます。早く今回の役

に入ってほしいですね。舞台上がればプロなので、自信を持って頑張ろう」と意気込みを話しました。

この日は早速、歌唱指導が始まり、発声の注意点など熱の入ったものとなりました。また、出演者らが参加動機などを発表。「自分を表現してみたい」「歌や演技が大好き」「学業と両立し頑張りたい」など、思い思いに意気込みを話すと、渡邊さんや見守っていた保護者から大きな拍手が送られました。

11回のミュージカルは「明地峠のゴンぎつね」と題し、明地峠に伝わる民話をもとに、脚本・演出の渡邊さんが「命」というメッセージを込めた作品です。今年10月14日、昼と夜の2回公演が予定されており、出演者29人は半年の稽古に入ります。



ピアノを囲んでの歌唱指導

さらなるレベルアップを 演技指導で力になりたい

脚本・作詞・演出・演技指導
わたなべかつこ
渡邊勝子さん（広島県三原市）

演出助手
もりたやすたか
森田恭隆さん（広島県三原市）



渡邊さん（右）と森田さん（左）
「三原市民ミュージカルも見に来て
ください」と話す渡邊さん

11回目の公演の内容について教えてください

（渡邊）

昨年の10回目は節目ということもあり、これまでの総集編のようにカップやオシドリなどが登場し、『みんな楽しく』がテーマでした。今回は、明地峠に伝わる民話をもとに、物語を作りました。命というメッセージを込めています。楽しみにしてください。

昨年に比べ1カ月早い公演と聞いていますが、稽古の進め方につ

いて教えてください

（渡邊）

そうですね、1カ月短いので中だるみなく仕上げないと間に合いません。しかし、今回は分かりやすい内容ですので、大丈夫だと思っています。

また、演出助手の森田くんも出演することになっていて、森田くんの演技を見てもらうことや指導で、さらなるレベルアップにつなげたいと考えています。

（森田）

私は三原市のミュージカルを通

して渡邊先生と出会い、6年になります。今回は演出助手のほか、出演もします。皆さんと近いところで、演技指導し力になっていきたいです。日野町民ミュージカルの質を高めていきたいと考えています。よろしくをお願いします。